

(様式第9)

関枚発第07X02号  
平成19年10月4日

厚生労働大臣 殿

開設者名 大阪府守口市文園町  
学校法人 関西医  
理事長 塚原

関西医科大学附属枚方病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成18年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	43人
--------	-----

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法  
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績  
→ 別紙参照(様式第13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数(平成19年10月1日現在)

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	252人	73人	268.7人	看護業務補助	20人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	0人	0人	0人	理学療法士	9人	臨床検査技師	58人
薬剤師	47人	0人	47.0人	作業療法士	4人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0人	視能訓練士	6人	その他	0人
助産師	35人	0人	35.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	695人	20人	708.8人	臨床工学技士	8人	医療社会事業従事者	3人
准看護師	4人	0人	4.0人	栄養士	0人	その他の技術員	9人
歯科衛生士	0人	0人	0人	歯科技工士	0人	事務職員	56人
管理栄養士	5人	0人	5.0人	診療放射線技師	32人	その他の職員	1人

(注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。

2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。

3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	597.5人	0人	597.5人
1日当たり平均外来患者数	1,615.0人	0人	1,615.0人
1日当たり平均調剤数		1.7剤	

(注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。

2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。

3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

## 高度の医療の提供の実績

## 1 高度先進医療の承認の有無及び取扱い患者数

(平成18年度)

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・顔面骨又は頭蓋骨の観血的移動術	有・無	0人
・培養細胞による先天性代謝異常診断	有・無	0人
・溶血性貧血症の病因解析及び遺伝子解析診断法	有・無	0人
・経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法	有・無	0人
・人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・無	0人
・人工中耳	有・無	0人
・実物大臓器立体モデルによる手術計画	有・無	0人
・性腺機能不全の早期診断法	有・無	0人
・経皮的レーザー椎間板切除術(内視鏡下を含む)	有・無	0人
・造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	有・無	0人
・スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・無	0人
・血小板膜糖蛋白異常症の病型及び病因診断	有・無	0人
・焦点式高エネルギー超音波療法	有・無	0人
・オープンMRを用いた腰椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術	有・無	0人
・肺腫瘍のCTガイド下気管支鏡検査	有・無	0人
・先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・無	0人
・筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・無	0人
・SDI法による抗がん剤感受性試験	有・無	0人
・内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	有・無	0人
・栄養障害型表皮水疱症のDNA診断	有・無	0人
・家族性アミロイドーシスのDNA診断	有・無	0人
・三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・無	0人
・マス・スペクトロメリーによる家族性アミロイドーシスの診断	有・無	0人
・抗がん剤感受性試験	有・無	0人
・子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断	有・無	0人
・不整脈疾患における遺伝子診断	有・無	0人
・腹腔鏡下肝切除術	有・無	0人
・画像支援ナビゲーション手術	有・無	0人
・悪性腫瘍に対する粒子線治療	有・無	0人
・エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・無	0人
・成長障害のDNA診断	有・無	0人
・生体部分肺移植術	有・無	0人
・門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	有・無	0人
・乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・無	0人
・悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・無	0人
・腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・無	11人
・声帯内自家側頭筋膜移植術	有・無	0人
・骨髄細胞移植による血管新生療法	有・無	0人
・ミトコンドリア病のDNA診断	有・無	0人
・悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・無	0人
・鏡視下肩峰下腔徐圧術	有・無	0人

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・神経変性疾患のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・脊髄性筋萎縮症のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・固形がんに対する重粒子線治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・カフェイン併用化学療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・31P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・特発性男性不妊症又は性腺機能不全症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・胎児尿路・羊水腔シャント術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・遺伝性コプロポルフィン症のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・固形腫瘍(神経芽腫)のRNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・重症BCG副反応症例における遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・自家液体窒素処理骨による骨軟部腫瘍切除後骨欠損の再建	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・悪性脳腫瘍に対する抗がん剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・高発がん性遺伝性皮膚疾患のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・エキシマレーザー冠動脈形成術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・活性化Tリンパ球移入療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・抗がん剤感受性試験(CD-DST法)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・中枢神経白質形成異常症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・三次元再構築画像による股関節疾患の診断と治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・内視鏡下甲状腺がん手術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術(CT透視下法)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・活性化血小板の検出	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・ケラチン病の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・末梢血幹細胞(CD34陽性細胞に限る。)による血管再生治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・末梢血単核球移植による血管再生治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人

高度先進医療の種類（医科）	承認	取扱い患者数
・副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・グルタミン受容体自己抗体による自己免疫性神経疾患の診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・腹腔鏡下広汎子宮全摘出術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・自己腫瘍(組織)を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・自己腫瘍(組織)及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人

高度先進医療の種類（歯科）	承認	取扱い患者数
・インプラント義歯	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・顎顔面補綴	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・顎関節症の補綴学的治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・歯周組織再生誘導法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・接着ブリッジによる欠損補綴並びに動揺歯固定	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・エックス線透視下非観血的唾石摘出術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・レーザー応用によるう蝕除去・スケーリングの無痛療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・顎関節鏡視下レーザー手術併用による円板縫合固定術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・顎関節脱臼内視鏡下手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・耳鼻いんこう科領域の機能障害を伴った顎関節症に対する中耳伝音系を指標とした顎位決定法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人

(注) 1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 高度先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮筋症核出術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
自動吻合器を用いた直腸粘膜脱又は内痔核手術(PPH)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
画像支援ナビゲーションによる膝靭帯再建手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
強度変調放射線治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
胎児心超音波検査	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
画像支援ナビゲーションによる内視鏡下鼻内副鼻腔手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
インプラント義歯	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
顎顔面補綴	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
人工中耳	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
歯周組織再生誘導法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
抗がん剤感受性試験	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
腹腔鏡下肝切除術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
生体部分肺移植術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
活性化血小板の検出	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
末梢血幹細胞による血管再生治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
カラー蛍光監察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
超音波骨折治療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
眼底三次元画像解析	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
CYP2C19遺伝子多発検査に基づくテラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
非生体ドナーから採取された同種骨・靱帯組織の凍結保存	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
X線CT検査診断装置及び手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人

(注) 1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 高度先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

3 先進医療で上の表に掲げているものは、今年度の業務に関する報告の対象ではないが来年度以降の参考のため記入すること。

## 2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療（平成18年度）

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	70人	・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	7人
・多発性硬化症	6人	・ウェゲナー肉芽腫症	78人
・重症筋無力症	21人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	20人
・全身性エリテマトーデス	265人	・多系統萎縮症	1人
・スモン	1人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	1人
・再生不良性貧血	47人	・膿疱性乾癬	0人
・サルコイドーシス	128人	・広範脊柱管狭窄症	1人
・筋萎縮性側索硬化症	9人	・原発性胆汁性肝硬変	157人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	61人	・重症急性膵炎	7人
・特発性血小板減少性紫斑病	158人	・特発性大腿骨頭壊死症	48人
・結節性動脈周囲炎	126人	・混合性結合組織病	26人
・潰瘍性大腸炎	156人	・原発性免疫不全症候群	10人
・大動脈炎症候群	20人	・特発性間質性肺炎	14人
・ビュルガー病	30人	・網膜色素変性症	96人
・天疱瘡	0人	・プリオン病	0人
・脊髄小脳変性症	8人	・原発性肺高血圧症	4人
・クローン病	66人	・神経線維腫症	32人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	3人	・亜急性硬化性全脳炎	1人
・悪性関節リウマチ	21人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0人
・パーキンソン病関連疾患	37人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	5人
・アミロイドーシス	35人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	1人
・後縦靭帯骨化症	80人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・ハンチントン病	0人		

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

## 3 病院・臨床検査部門の概要（平成18年度）

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	271 回	
剖 検 の 状 況	剖検症例数 32 例	剖検率 8.0 %

## 1. 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元
超音波組織ドプラによる運動療法、各種薬物療法での大動脈コンプライアンス変化の比較	木村 穰	循環器腎内分泌内科	600,000	補 文部科学省 科学研究費補助金
自己免疫性膵炎患者および慢性モデルマウスにおける標的抗原に関する免疫学的研究	岡崎 和一	消化器内科	1,600,000	補 文部科学省 科学研究費補助金
胃癌におけるMAPKを介するTGF- $\beta$ シグナル伝達機構の解析と治療への応用	森 茂生	消化器内科	2,300,000	補 文部科学省 科学研究費補助金
強迫性障害患者の脳機能画像研究 -前頭葉白質線維回路網に注目して-	延原 健二	精神神経科	700,000	補 文部科学省 科学研究費補助金
幽門保存胃切除後の胃運動能に関する研究 -幽門輪からの切離距離による検討-	中根 恭司	外科	500,000	補 文部科学省 科学研究費補助金
Dynamic graciloplasty による肛門機能の改善に関する研究	吉岡 和彦	外科	500,000	補 文部科学省 科学研究費補助金
pirfenidoneによる障害肝保護作用の解析	海堀 昌樹	外科	1,100,000	補 文部科学省 科学研究費補助金
スタチンによる障害肝のiNOSシグナル伝達系の制御に関する研究	松井 陽一	外科	1,800,000	補 文部科学省 科学研究費補助金
小腸移植における一酸化窒素のグラフト保護因子としての役割の解明	濱田 吉則	外科	1,600,000	補 文部科学省 科学研究費補助金
早期乳癌の遺伝子診断と局所療法の試み	山本 大悟	外科	1,800,000	補 文部科学省 科学研究費補助金
神経板の発達における遺伝子発現に関する検討 -特に外胚葉・中胚葉との関連について-	稲垣 隆介	脳神経外科	2,000,000	補 文部科学省 科学研究費補助金
音響解析を用いた呼吸リハビリテーションの客観的評価について	菅 俊光	整形外科	400,000	補 文部科学省 科学研究費補助金
骨髄移植による特異的免疫寛容を作成して熱傷に対する同種移植による救命実験	小川 豊	形成外科	2,000,000	補 文部科学省 科学研究費補助金

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。  
2「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。  
3「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」、委託の場合は「委」と記入の上で補助元又は委託元を記入すること。

## 1. 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元
アデノウイルスベクターを用いた骨形成タンパクの遺伝子導入による骨誘導の実験研究	楠本 健司	形成外科	1,000,000	補 文部科学省 科学研究費補助金
老人性難病関連遺伝子の解明と蝸牛局所療法の開発	山下 敏夫	耳鼻咽喉科	2,300,000	補 文部科学省 科学研究費補助金
蝸牛求心性聴覚情報伝達機構における一酸化窒素の作用及び細胞内Ca <sup>2+</sup> 動態への影響	永田 基樹	耳鼻咽喉科	1,300,000	補 文部科学省 科学研究費補助金
DNAマイクロアレイを用いたステロイドホルモン応答遺伝子の内耳における発現解析	八木 正夫	耳鼻咽喉科	1,500,000	補 文部科学省 科学研究費補助金
非生物由来の新しい一時的塞栓物質の開発	谷川 昇	放射線科	2,000,000	補 文部科学省 科学研究費補助金
外科的透析内シャント作成術に代わる新しい経皮的シャント作成術の開発	狩谷 秀治	放射線科	1,300,000	補 文部科学省 科学研究費補助金
ヒト子宮内膜における前駆体蛋白活性化酵素PC6の調節機構とその役割に関する研究	岡田 英孝	産婦人科	2,200,000	補 文部科学省 科学研究費補助金
脳内ドパミン系に対する作用を指標にしたキセノンの脳保護作用に関する研究	増澤 宗洋	麻酔科	1,100,000	補 文部科学省 科学研究費補助金

計21件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。  
2「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。  
3「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」と記入の上で補助元又は委託元を記入すること。